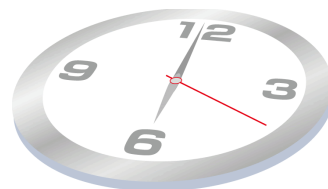




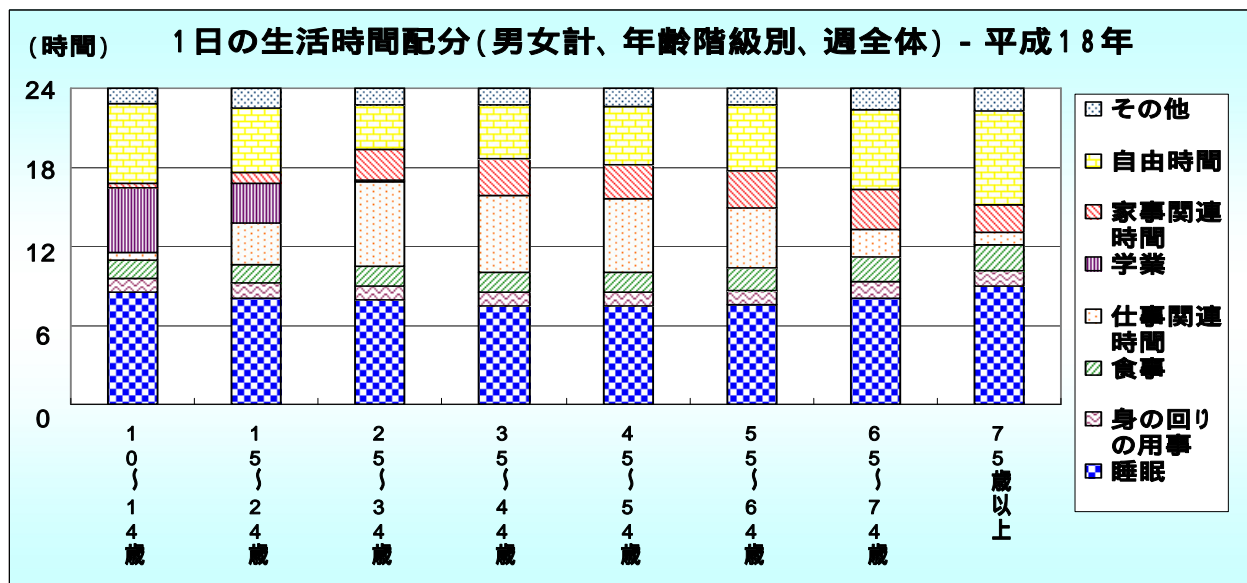
## 社会生活基本調査のお知らせ



皆さんは、普段、パソコンをどのくらい利用していますか？また、趣味やスポーツにはどのくらい興じていますか？通勤時間はどのくらいですか？

そういった私たちの普段の生活スタイルに関する調査(社会生活基本調査)が平成23年10月20日に全国で実施されます。

社会生活基本調査は、昭和51年に開始されて以来、5年ごとに行われており、今回の調査は8回目になります。



(注)自由時間・・・「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」、「学習・研究(学業以外)」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計  
 家事関連時間・・・「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計  
 仕事関連時間・・・「仕事」、「通勤・通学」の合計

資料: 総務省統計局「平成18年社会生活基本調査」-生活時間編(沖縄)-より



上記は、沖縄県の1日の生活時間配分を年齢階級別に表示したグラフです。年齢階級別に比較すると、「仕事関連時間」は25～34歳が長く、「家事関連時間」は65～74歳が長くなっています。また、いずれの年齢階級でも「睡眠」が最も長くなっていることが見てとれます。このように社会生活基本調査では、我々の1日の平均的な過ごし方が分かることはもちろん、「過去1年間の活動内容」や「一人暮らしの人が一人でいた時間」、「介護を必要とする人がいる世帯において、別居の親族からの手助けや介護サービスなどを受けているかどうか」など詳細な事柄についても明らかになります。

国民の生活時間や生活行動の実態を明らかにする社会生活基本調査は、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進、男女共同参画社会の形成、少子高齢化対策といった行政施策のための基礎資料として利用されているほか、地方公共団体におけるスポーツや文化振興、ボランティア活動の推進といった地域振興などに幅広く利用されている大事な調査です。

調査結果をよりよい暮らしと社会にうまく反映させるためにも、皆様の調査へのご理解とご回答をよろしくお願いいたします。